

北海道の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認 (今シーズン国内1例目)

【農場概要】

所在地：北海道白老町

飼養状況：約45.9万羽(採卵鶏)

【経緯】

10月21日(火) 死亡羽数増加の通報を受け、立入検査を実施
簡易検査陽性

10月22日(水) 遺伝子検査の結果、HPAIの疑似患畜であることを確認

農場におけるウイルス侵入防止対策の強化をお願いします！

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検し、不備があれば改善

■人、物、車両の入出時対策

- ・ 衛生管理区域専用の衣服・靴の使用
- ・ 着用前後で交差のない動線、明確な境界確保
- ・ 適切な車両消毒、手指消毒実施、鶏舎・農場周辺の石灰散布
- ・ 家きん舎ごとの専用の靴の使用
- ・ 入出者の記録

■野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・ 畜舎の壁、防鳥ネット等の破損修繕
⇒特に猫、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ ネズミ及び害虫の駆除
- ・ 鶏卵、鶏糞の搬出口に覆いを設置
- ・ 餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など誘引を防止

◆過去に発生があった地域はリスクが高いと言われています。
管内では直近2シーズンで2件発生

毎日の健康観察を行い、
異状を認めた場合は速やかに通報をお願いします



岐阜県中央家畜保健衛生所

電話 058-201-0530 (夜間・休日 090-7024-5269)

FAX 058-201-0531